

【小学校・中学校・義務教育学校用】

令和7年度学校評価計画

達成度（評価）	
A	十分達成できている
B	おおむね達成できている
C	やや不十分である
D	不十分である

学校名	江北町立江北中学校
-----	-----------

1 前年度 評価結果の概要	<p>・学校評価保護者アンケート、生徒アンケートにおいて、「学校がわかる授業に努めているか」という問いに対しては、9割以上の保護者、生徒が肯定的に答えている。一方で、家庭学習に計画的に取り組んでいるかという問いに対しては、保護者、生徒とも肯定的に答えている者は6割にとどまっており、今後家庭学習に対する指導について考えていく必要がある。</p> <p>・「生命尊重や思いやりの心を育む教育」「いじめについての早期発見」「生徒一人一人への理解」についての学校側の取り組みにおいては、8割以上の保護者、生徒が肯定的な回答を寄せていた。このことから、今年度の学校教育目標に沿った教育活動はおおむね推進できていると考えられる。また、道徳教育の授業への取り組みについても生徒、教師とも7割以上の者が肯定的な回答を寄せており、授業改善が大きく進んでいると考えられる。</p> <p>・「生徒の特性に応じた教育の充実」は、特別支援教育コーディネーターによるコーディネートや小中連携の強化、また、合同研修会によるUD教育への理解が進んだことにより、大きく進んだと考えている。今後も個別最適な教育の充実を図りたい。</p> <p>・「業務改善・教職員の働き方改革の推進」については、教職員の意識改革も大きく進み、実際の業務改善も昨年度までに比べて大きく進んだ。今後も、教職員が働きやすい、休みを取りやすい職場環境作りに努める。</p>
------------------	--

2 学校教育目標	自ら学び 心豊かに たくましく生きる生徒の育成
----------	-------------------------

3 本年度の重点目標	<p>○確かな学力の育成 ・学習規律の確立 ・「めあて」「まとめ」「振り返り」で授業改善 ・家庭学習の質向上 ・ICTの利活用 ・小中連携の推進</p> <p>○心の教育の充実 ・生徒指導・支援体制の充実 ・不登校対策推進 ・道徳教育の充実 ・特別支援教育の推進 ・人権・同和教育の推進</p> <p>○自主活動の推進 ・生徒会活動の充実 ・生徒主体行事の推進 ・ボランティア活動の推進 ・キャリア教育の充実 ・無言清掃の推進</p>
------------	---

4 重点取組内容・成果指標	中間評価	5 最終評価
---------------	------	--------

(1)共通評価項目				中間評価		最終評価		学校関係者評価	
評価項目	重点取組		具体的取組	進捗度 (評価)	進捗状況と見通し	達成度 (評価)	実施結果	評価	意見や提言
	取組内容	成果指標 (数値目標)							
●学力の向上	○自分の考えをもち、表現できる力の育成	○「自分の考えをもち、表現することができた」に肯定的な回答をする生徒の割合を80%以上。 ○「家庭学習に2時間以上、計画的に取り組んでいる」と答えた生徒の割合60%以上。	・生徒が関心を持ち、かつ取り組みやすい学習課題を提示し、自分で考え判断し、さまざまな手段で表現する活動を仕組む。 ・生徒による授業アンケートを学期に1回実施し、授業改善を行う。						
●心の教育	●児童生徒が、自他の生命を尊重する心、他者への思いやりや社会性、倫理観や正義感、感動する心など、豊かな心を身に付ける教育活動	○「道徳の授業を受けることは楽しい」と答えた生徒の割合80%以上。 ○「深い学びにつながるよう、考え、議論する道徳の授業の実践に取り組んでいる」と答えた教員の割合70%以上。	・人権集会や平和集会を実施する。 ・学年を中心にティーム・ティーチングによる授業を実践し、道徳教材の工夫改善と授業の充実を図る。 ・自他を尊重する態度を称賛する場を設定する。						
	●いじめの早期発見、早期対応に向けた取組の充実	○いじめ防止等について組織的対応ができていると回答した教員の割合80%以上。 ○「いじめや差別を許さず、自他を尊重し安心・安全に留意してしている」と答えた生徒の割合80%以上。	・いじめ対応についての研修・会議を年間2回実施する。 ・学校生活に関するアンケートの実施とSGIによる定期的な講話やカウンセリングの実施。 ・いじめの早期発見・対応のための学校生活アンケートの実施と職員の連絡体制の確立を図る。						
	●児童生徒が夢や目標を持ち、その実現に向けて意欲的に取り組もうとするための教育活動。	●「先生はあなたのよいところを認めてくれていると思う」と回答した児童生徒80%以上 ●「将来の夢や目標を持っている」と肯定的な回答をした児童生徒75%以上	・職業調べ、職場体験、進学説明会など学年ごとの体験的な活動を生かしながら、正しい職業観や見通しをもって進路を選択する態度や意識を養い、進路学習を充実させる。 ・「キャリアパスポート」を活用し、将来の進路について考えさせる機会を設定する。						
	○教育相談の充実	○「学校生活の中で相談できる人(先生、スクールカウンセラーや友達など)がいる」と肯定的に回答する生徒85%以上 ○「学校はSCやSSWと連携した教育相談体制が機能している」と答えた教員の割合85%以上。	・教育相談週間に年々2回設定し、全職員で生徒の相談にあたる。 ・毎週教育相談部会を開催し、SCやSSWの助言をもとに生徒の実態に応じた対応ができる体制を整備する。 ・Q-Uアンケートの研修会を実施する。						
●健康・体づくり	○「望ましい食習慣と食の自己管理能力の育成」	○「健康に良い食事をしている」児童生徒70%以上 ○朝食をとって登校する児童生徒95%以上	・生徒会給食部の活動と連携し、「食」の大切さについて考える活動を行う。 ・江北小学校の栄養教諭と連携を図り、中学2年生に食の授業を実践する。						
●業務改善・教職員の働き方改革の推進	●業務効率化の推進と時間外在校等時間の削減	●教育委員会規則に掲げる時間外在校等時間の上限を遵守する。 ●年間20日の年次休暇のうち、職員1人当たりの年次休暇の取得日数14日以上	・3ヶ月ごとの月平均残業時間を45時間にする。 ・定時退勤日や事務処理時間を設定する。 ・ICTを活用した業務の効率化を図る。						
●特別支援教育の充実	○生徒の特性に応じた教育の充実	○昨年度より特別支援教育が充実したと回答する教員が80%以上。	・該当する生徒の個別の指導計画、教育支援計画を100%作成する。 ・特別支援教育に関する校内研修会を1回以上実施する。						

(2)本年度重点的に取り組む独自評価項目									
評価項目	重点取組		具体的取組	進捗度 (評価)	進捗状況と見通し	達成度 (評価)	実施結果	評価	意見や提言
	重点取組内容	成果指標 (数値目標)							
○小中連携教育	○小学校との連携推進	○小学校との連携ができていると回答する教員80%以上。	・教務、生徒指導、教育相談、特別支援教育について、小学校との情報共有の場を設定する。						

5 総合評価・ 次年度への展望	<p>●…県共通 ○…学校独自 ◎…志と誇りを高める教育</p>
--------------------	----------------------------------